

令和8年度

第3回 京都市桃陽病院の今後の在り方に関する検討会
本体編

令和8年6月18日（木）

6 ページを修正

3. 追加調査・検討事項

修正あり

(1) 改修や建替えに伴う収支計画への影響

- 以下に、新築・改修の区分及び病床数の規模ごとに、開院3年目における収支の見通しを整理しています（下表の四角囲みの入院患者数（10人）は令和7年度実績）。
- 仮に入院患者数が、その**約2倍にあたる20人/日まで増加した場合においても**、現行水準と同程度となる**年間2.5億円規模の公金投入**が見込まれます。加えて、物価高騰や人件費の上昇が進行した際には、当該金額がさらに拡大する可能性も否定できません。

【単位：千円】

整備区分	新築						改修
病床数	40床			20床		20床	
総費用	4,123,793			2,206,833		2,546,546	
うち、建築（改修）費用	3,520,000			1,760,000		2,207,793	
病床利用率	25%	50%	100%	50%	100%	50%	100%
入院患者数（日）	10人	20人	40人	10人	20人	10人	20人
【医業収益】	92,393	170,445	326,550	92,393	170,445	92,393	170,445
うち、入院収益	78,052	156,105	312,209	78,052	156,105	78,052	156,105
【医業費用】	493,134	555,471	680,145	436,651	498,988	449,877	512,214
うち、営業費用	354,258	416,595	541,269	354,258	416,595	354,258	416,595
人件費（固定）	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173
材料費（変動）	10,400	20,800	41,599	10,400	20,800	10,400	20,800
教育研究費（固定）	284	284	284	284	284	284	284
経費（変動）	51,937	103,874	207,747	51,937	103,874	51,937	103,874
負担金補助金及び交付金（固定）	464	464	464	464	464	464	464
うち、新病院整備や改修に関する費用	138,876	138,876	138,876	82,393	82,393	95,619	95,619
減価償却	138,876	138,876	138,876	82,393	82,393	95,619	95,619
償還金額	0	0	0	0	0	0	0
経常利益（【医業収益】－【医業費用】）	-400,742	-385,026	-353,595	-344,259	-328,543	-357,485	-341,769
公的資金投入額	-261,866	-246,150	-214,719	-261,866	-246,150	-261,866	-246,150

- 現在、桃陽病院には看護職員が16.5人配置されており、小児入院医療管理料5（患者：看護職員＝15対1以上）の基準に基づく、1日あたり約40人の患者の受入れが可能となります。これを踏まえ、40床規模を前提として建替え費用を算出しています。
- 新病院整備に関する費用（イニシャルコスト）は、京都市が負担する前提で「償還金額」は0円としています。
- 公的資金投入額とは、「経常利益に減価償却費を加減した額」を示します。